

事前質問の取扱いについての整理

※5名の委員から78の質問が寄せられた

【優先的に議論すべき話題】

NO	資料_ページ	内容	論点	担当課	質問者	コメント
8	資料2-1_P3	基幹相談支援Cによる地域の人財育成・NW構築の研修等	基幹相談支援センターの人員不足とスキルアップ	障害福祉課	澁川委員	
57	資料2-2_P32	基幹相談支援センター支援事業・障害者相談支援事業	基幹相談支援センターに求める業務：相談支援と認定調査など	障害福祉課	川越委員	吉川委員
11	資料2-1_P4	緊急一時支援の事前登録者数	潜在的に必要としている障害者の把握について	障害福祉課	竹内委員	
54	資料2-2_P28	地域生活支援拠点の整備	周知を高める方法について	障害福祉課	川越委員	
3	資料2-1_P2	乳幼児健診の受診率	受診していない児の実数とそれらの児に対するアプローチ	母子保健担当室	竹内委員	
25	資料2-2_P12	こども発達センター（外来療育）	終診となった児の紹介先や就学後の支援担当者の明確化	健康福祉会館	川越委員	
75	その他	こども発達相談窓口「みらいのとびら」	療育への接続について	子ども政策課	川越委員	
77	その他	5歳児健診	実施に向けた検討の進捗について／フォロー体制について	母子保健担当室	川越委員	
71	その他	障害手帳保持者	障害種別や年齢区分など現状を把握するためのデータについて	障害福祉課	瀧本委員	
41	資料2-2_P18	連携支援体制の構築	65歳到達者に対する通知や支援の在り方について	障害福祉課	竹内委員	
43	資料2-2_P18	共生型サービスの周知	障害福祉サービスと介護保険サービスの双方を提供する事業所を増やす	障害福祉課	川越委員	
78	その他	18歳以上の医療的ケア者の把握	いわゆる「18歳の壁」について	障害福祉課	佐塚委員	
51・52	資料2-2_P26	指定特定相談支援事業者支援事業	他市の支援事業を参考に松戸市において有効な支援策を検討する	障害福祉課	川越委員	大友委員

【次いで優先的に議論すべき話題】

14・15	資料2-2_P3	高次脳機能障害者支援	家族の集いの開催や意思疎通支援者養成研修修了者の有効活用	障害福祉課	竹内・川越委員	
17	資料2-2_P6	市民後見協力員養成講座	登録者数の目標と講座の開催頻度	障害福祉課	川越委員	萩原委員
30・31	資料2-2_P15	就学相談・教育支援委員会の実施	審議する児の選定方法	特別支援教育担当室	川越・佐塚委員	
34・35	資料2-2_P17	医療的ケアを必要とする児に対するレスパイトケア事業補助金	平均人数を増やすことや受入体制の構築・充実について	障害福祉課	川越委員	
58	資料2-2_P32	ひきこもり支援事業	プラットフォーム（協議の場）の在り方について	障害福祉課	川越委員	
63	資料2-2_P39	在宅人工呼吸器使用者の停電時の備えの強化	在宅人工呼吸器使用者を把握する方法について	健康医療政策課、障害福祉課	川越委員	
73	その他	日常生活用具（紙おむつ）給付	支給要件見直しに関する検討結果、結論	障害福祉課	川越委員	

【その他の質問】

事前質問一覧を踏まえた上での委員からの追加質問や問題提起を受け付ける